

## 「大雨警報」「暴風・暴風雪警報」「特別警報」等 発表時の対応

	大雨警報 洪水警報 大雪警報 急な悪天候 (雨・雷雨・竜巻等)	暴風警報 暴風雪警報	特別警報
6:00 までに解除	通常授業 ※ 1, 2, 3, 4, 5	通常どおり ※ 1, 2, 3	自宅待機 解除されても学校からの メール連絡の指示を待つ
6:00 以降も発表中		休校	
登校後発表	通常授業 状況に応じて授業の継続または中止を決定します。 ※ 8	速やかに <u>「児童引き取りカード」</u> に基づく下校 ※ 6 ※ 7	学校待機 安全が確認できたら <u>全員、児童引き取り下校</u>

※ 1 翌日の気象状況が心配される場合、翌日の対応について学校からメール配信します。

※ 2 前日に配信した内容から変更がある場合のみ、午前 7 時までに改めてメール配信します。

※ 3 状況に応じて授業の有無、授業開始時刻を決定します。

※ 4 必要に応じて中学校区内の小中学校と連携をとります。

※ 5 保護者が登校を危険と判断した場合は、豪雨や雷雨がおさまってから登校させてください。その際には学校に連絡を入れてください。(遅刻にはなりません。)

※ 6 メールを配信し、保護者のかたがたに、児童の下校についての連絡をします。

ア 通学団下校の場合

- ・ 通学団担当教員が引率して下校します。

イ 児童引き取りの場合

- ・ 「引き取りカード」に書かれた引き取り人を確認したうえで、児童を確実に引き取り人にお渡しします。
- ・ 引き取りは体育館を基本とします。引き取りに来られるまでに時間がかかる児童、連絡がつかない児童については、図書館に移動し、引き取りに来るまで待機します。

◎年度当初に「児童引き取りカード」を作成し、下校方法を確認します。

※7 通学路が危険と認められるときや通学距離などにより帰宅が困難と認められるときは、当該児童を学校に留めおきます。学校に残した児童は、校内の最も安全な場所に集め、その旨をご家庭に連絡します。

※8 授業を中止する場合は、以下の避難行動に移ります。

(1) 児童を学校に留めおき、安全を確保します。

(2) 「引き取り下校」や「集団下校」など、下校の方法について中学校区内の小中学校で連携をとり、保護者のかたにメールを配信し、お知らせします。

「児童引き取りカード」の作成について

- ・ 暴風・暴風雪警報発令の場合、通学団下校か引き取りかを選択していただきます。なお、「**全員、引き取り下校**」に備え、必ず、引き取り人を明記した「引き取りカード」を作成していただきます。